

近代建築の遺産を訪ねて

10月26日(土)

2班

イケフェス大阪2024 Report

10月26日、27日開催

生きた建築ミュージアムフェスティバル



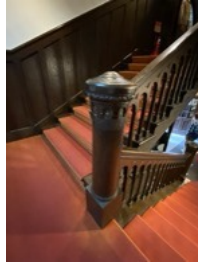
“生きた建築”の概念は「大阪の歴史・文化・市民の暮らしぶりといった都市の営みの証であり、さまざまな形で変化・発展しながら、今も生き生きとその魅力を物語る建築物」のことです。

*通常非公開の場所が特別公開されていたり、ガイドツアー等があります。

今回の『イケフェス』は班単位の行動。
2班は午前中に①日本基督教団 大阪教会②江戸堀コダマビル③大阪ガスビルディング④芝川ビル⑤武田道修町ビル、午後から⑥生駒ビルディング⑦伏見ビル⑧新井ビルを見学しました。

①日本基督教団 大阪教会

1922年 ヴォーリズ設計により建設
1996年 「登録有形文化財」
2022年 「大阪府 有形文化財」
会堂建築100周年



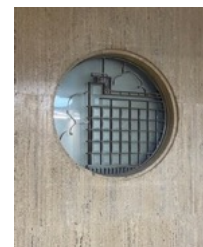
②江戸堀コダマビル

1935年 児玉竹次郎邸竣工
和洋折衷のデザイン
2007年 「登録有形文化財」



③大阪ガスビルディング

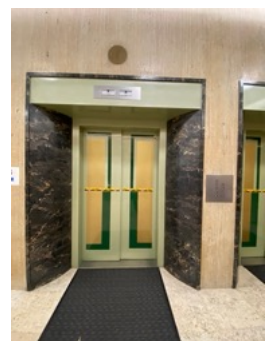
1933年 安井武雄設計、大林組施工
地上8階・地下2階、冷暖房完備
2003年 「登録有形文化財」



現在

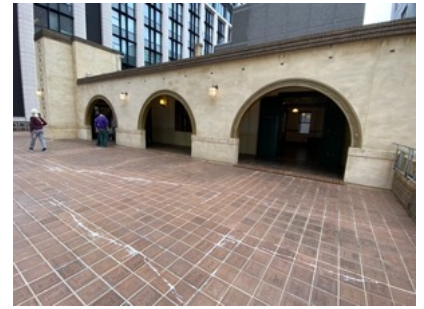


竣工当時



④芝川ビル

1927年 渋谷五郎により設計
古代中南米風の装飾が特徴
2006年「登録有形文化財」



屋上



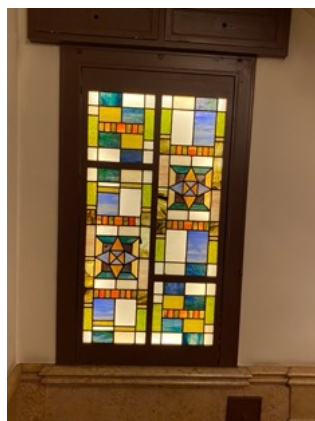
⑤武田道修町ビル

1928年 松室重光により設計
現在は杏雨書屋という医学系の研究者向けの図書資料館となっている



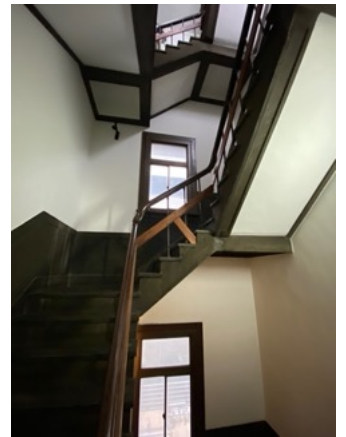
⑥生駒ビルヂング

1930年 生駒時計店本店として建設
宗兵蔵がアール・デコを基調に設計
1997年「登録有形文化財」



⑦伏見ビル

1923年頃 ホテルとして建設
長田岩次郎設計
2002年「登録有形文化財」



⑧新井ビル

1922年 報徳銀行大阪支店として竣工
河合浩蔵設計
1階は花崗岩の石貼り、ドリス式の柱
2階より上はタイル貼り
1997年「登録有形文化財」

